

平成28年における熱中症に関する農林水産省の取組

平成28年11月21日

第1回熱中症関係省庁連絡会議幹事会

農林水産省では、熱中症対策について、7月の熱中症予防強化月間にあわせて以下の取組を行った。

- ① 6月2日、農作業中の熱中症予防のための留意点について、都道府県および関係団体へ通知を発出し、農業者等に対する徹底指導及び周知依頼を行った。(別紙1)
- ② 7月22日、農作業中の熱中症による死亡事故が多発している状況を受け、都道府県および関係団体へ事故の発生状況と具体的な注意喚起の方法を示した通知を緊急で発出した。(別紙2)
- ③ 農林水産省メールマガジン(7月4日)、Facebook(7月28日)、Twitter(7月29日)で農作業中の熱中症の予防方法や応急処置について啓発を行った。さらに、今年度7月より、新たに熱中症に関するホームページを開設し、特に暑さ指数の高い地域について毎日更新するとともに、指数に対応した作業計画の立て方等について周知を図った。
- ④ 農作業時における熱中症の注意喚起のため、「熱中症予防声かけプロジェクト」と連携し作成したポスター・チェックシートをJAや農業機械の販売店、行政機関等に配布するとともに、農林水産省のホームページに掲載した。(別紙3)
- ⑤ 関係団体の協力の下、熱中症計等の熱中症予防に資するグッズや機能性の高い農作業ウェアについて情報を集約したホームページを作成し、それらの利用推進を図った。

28生産第480号
平成28年6月2日

各行政機関の長 殿
各団体の長 殿

農林水産省生産局技術普及課長

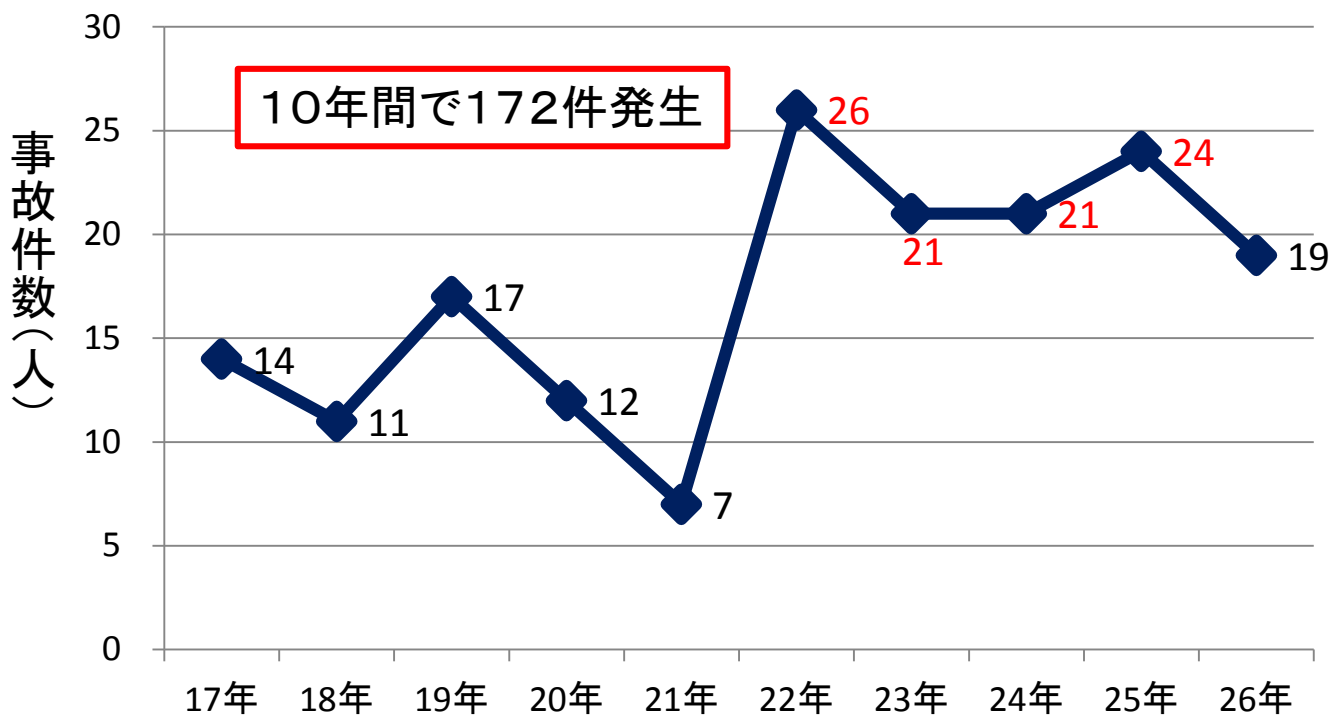
農作業中の熱中症対策について

農作業中の熱中症は毎年発生していますが、熱中症による死亡事故件数は、別添1のとおり平成22年以降毎年20件前後で推移し、7・8月に70～80代の方が屋外作業を行うときに集中して発生しています。また、気象庁が発表した暖候期予報によると、今夏の平均気温は全国的に平年並みか高いとされており、今夏の暑熱環境下での農作業は特に対策が必要です。

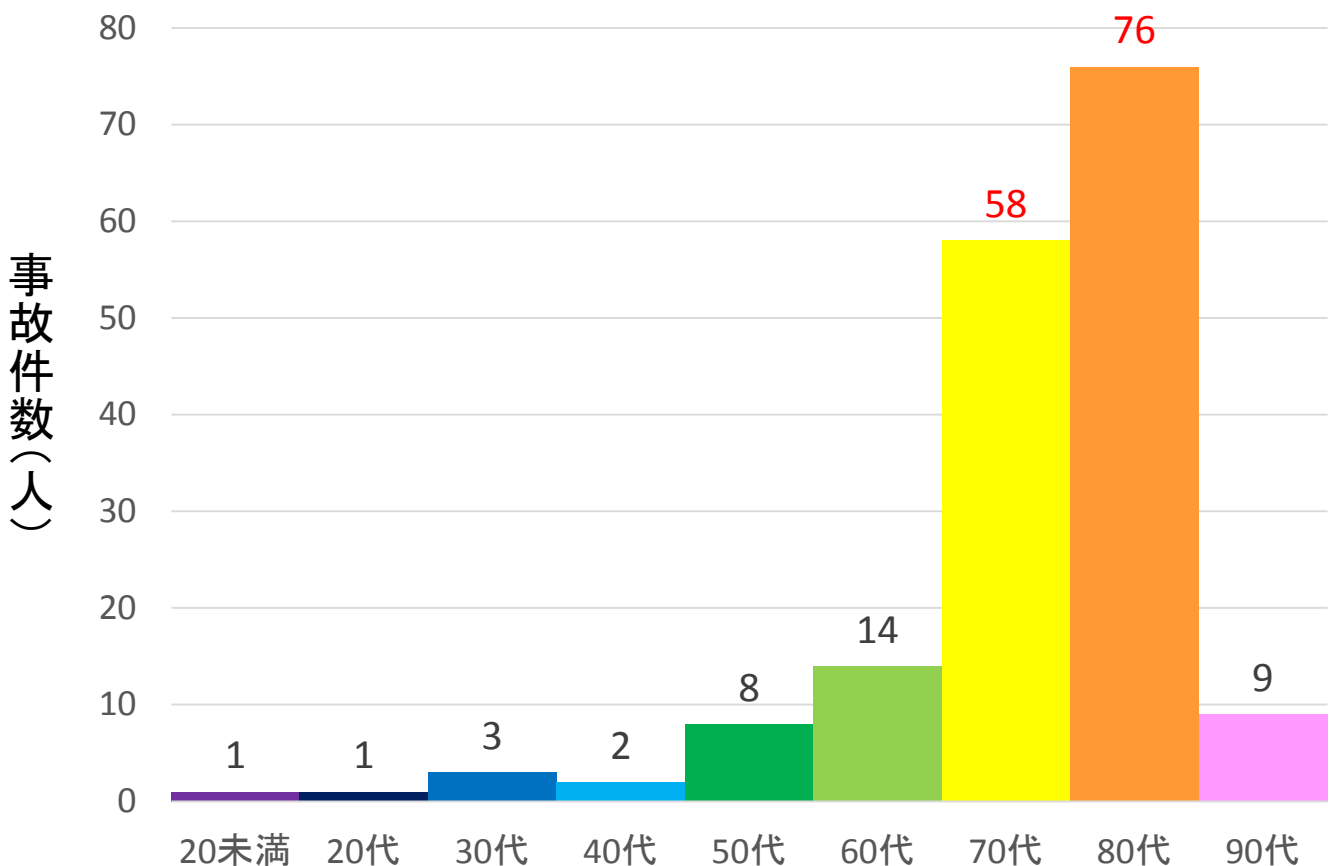
熱中症の予防は、水分をとることと、体温の上昇を抑えることが基本です。暑熱環境下での作業の留意点については、「農作業安全のための指針（平成14年3月29日付け13生産第10312号農林水産省生産局長通知）」においてとりまとめているところですが、熱中症の発生が急増する時期を迎えるにあたり、貴職より貴関係者に対し、あらゆる機会を利用して別紙の内容を幅広く周知いただきますようお願いいたします。特に、高齢農業者は、日常生活の中で数日かかって徐々に熱中症が進行するケースがあり、周囲の人に気づかれにくい上、発症後も回復しにくいことが知られています。周囲の方々が協力して声かけを行う等、重点的に対策を行っていただきますようお願いいたします。

なお、環境省が開設している熱中症予防情報サイト (<http://www.wbgt.env.go.jp/>) では、熱中症の目安となる暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度）や熱中症の対処方法（応急処置）、普及啓発資材等が掲載されておりますので、適宜ご活用願います。

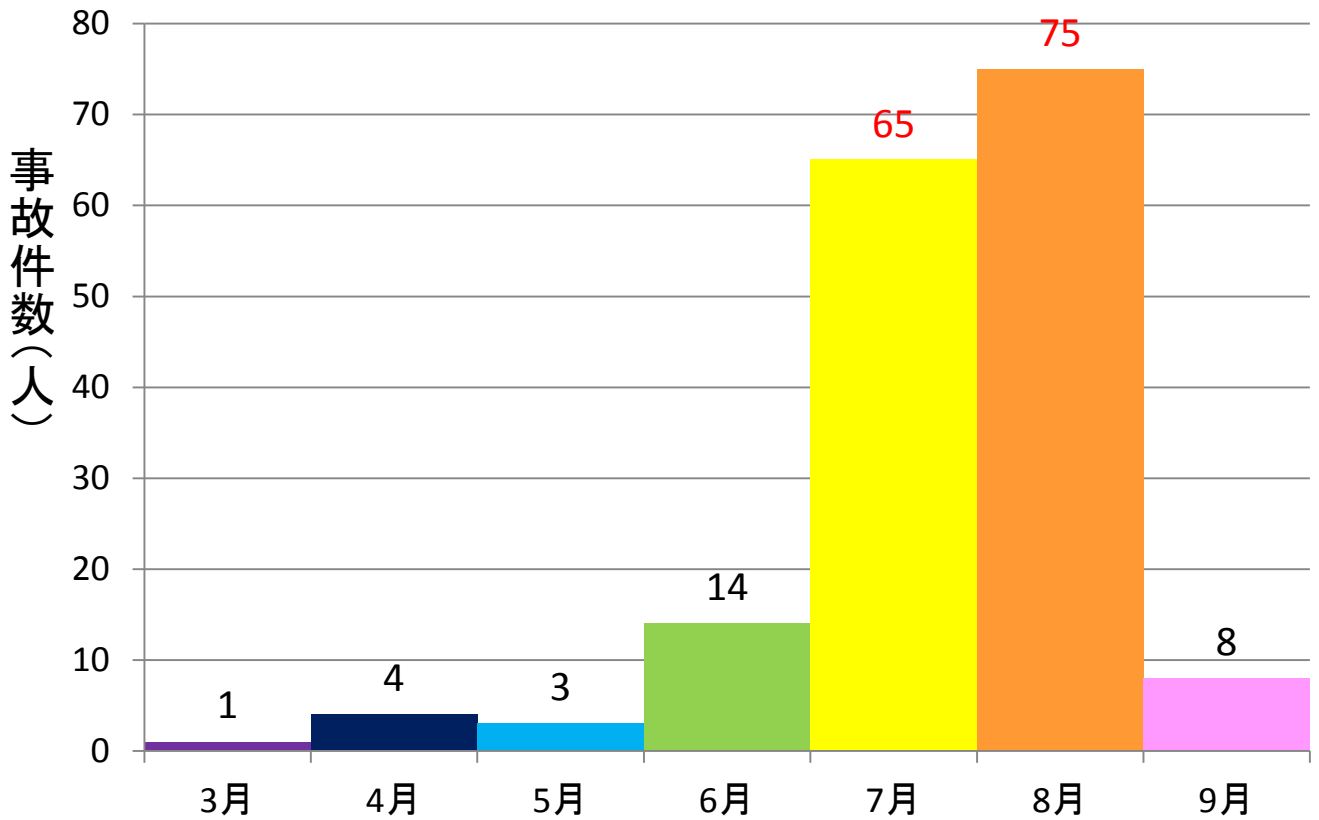
農作業中の熱中症による死亡事故件数の推移



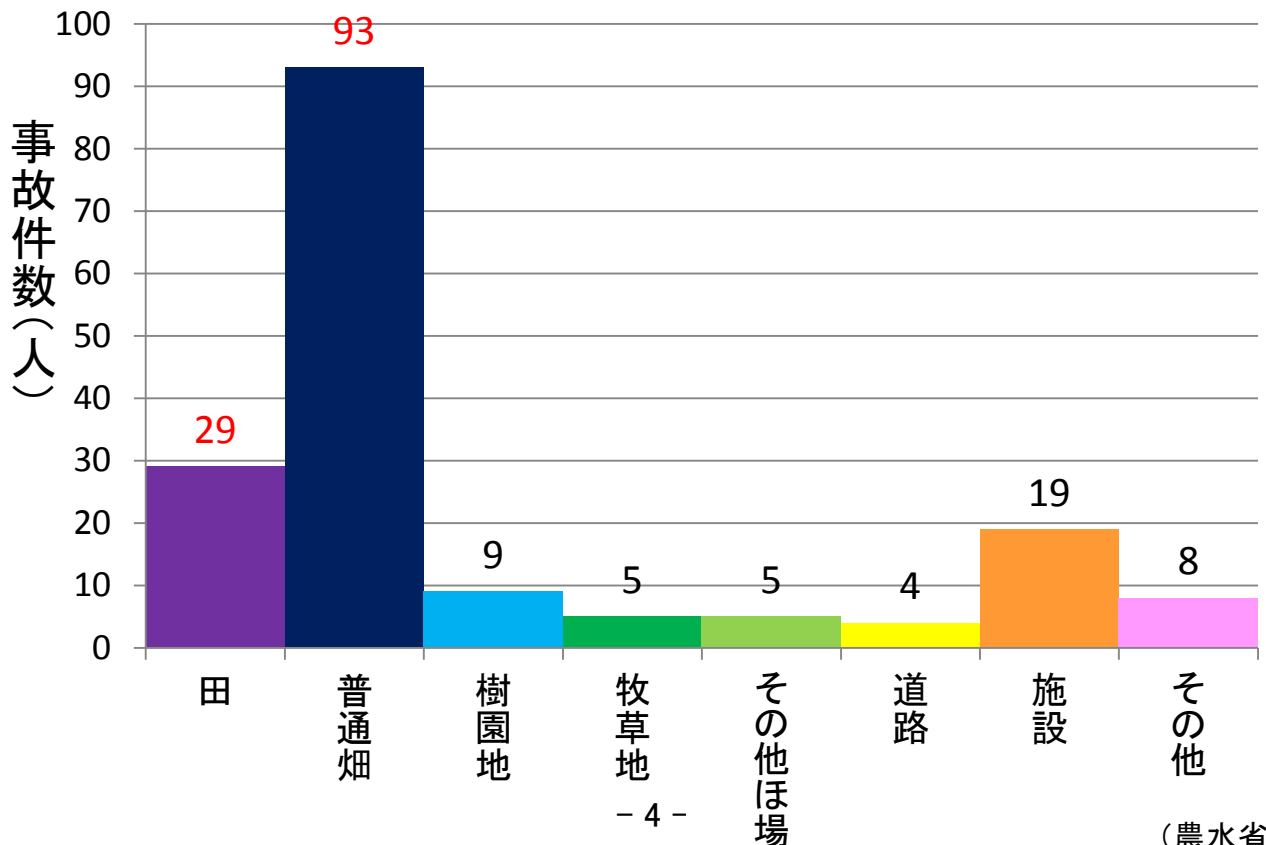
農作業中の熱中症による死亡事故件数、年齢別(平成17~26年)



農作業中の熱中症による死亡事故件数、月別（平成17～26年）

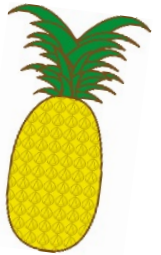
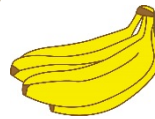
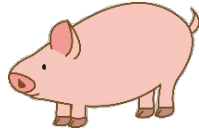
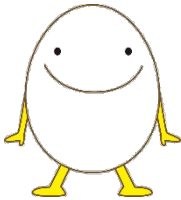
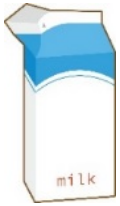


農作業中の熱中症による死亡事故件数、場所別（平成17～26年）



1. 暑くなる前に、熱中症に負けない体作りをしておきましょう

- ☀ 暑さに慣れるため、毎日30分くらい歩く習慣をつけましょう
(歩いた後は牛乳を1杯飲むとさらに効果的です)
- ☀ 暑さに強くなる食べ物を積極的にとりましょう
(ビタミンB1を含む豚肉や卵、カリウムを含むほうれん草やバナナ、クエン酸を含む梅干しやパイナップルなどが効果的です)



2. 暑くなってきたら、日々の体調管理に一段と気をつけるようにしましょう

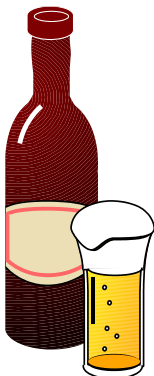
- ☀ 高血圧症・糖尿病等の持病や、睡眠不足・前日の飲酒・朝食の未摂取等は熱中症の発生に影響を与えます



朝食は作業前に欠かさず食べましょう



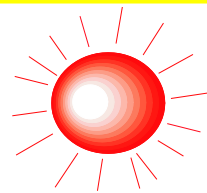
睡眠はしっかりとりましょう



お酒はほどほどにしましょう
(気づかないうちに脱水します)



持病がある場合や体調不良のときは
翌日の作業内容の変更などを検討しましょう



1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- ☀ 特に70歳以上の方は、高温時の作業は極力避けましょう
- ☀ 日中のシャベルを使った作業や草刈りは避けましょう(別添2参照)

2. こまめな休憩、水分補給を行いましょう

- ☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯をめやすに水分補給しましょう
- ☀ 休憩時は作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう

3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

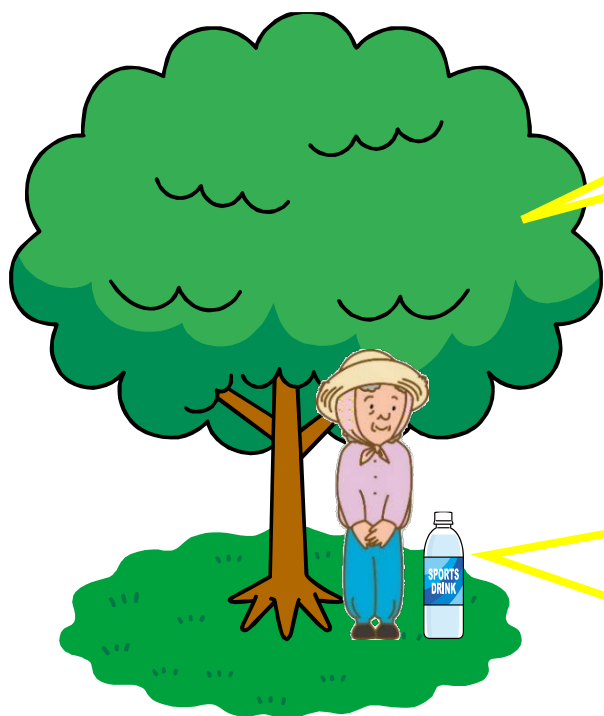
- ☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服やファン付きの作業着、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- ☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めてお茶を運び合うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- ☀ 作業場所には、日よけを設ける等、できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- ☀ ハウス等の施設内では、断熱材を使用したり、風通しを良くするなどして気温や湿度が高くなりすぎないようにしましょう



木陰などの涼しい休憩場所を必ず確保しておきましょう

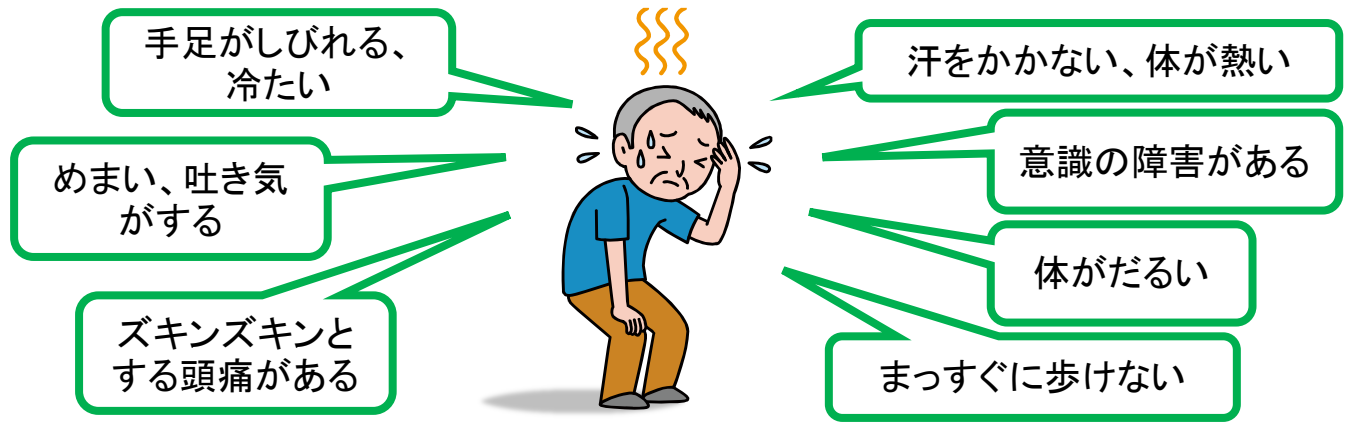


足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1ℓの水に1~2gの食塩)かスポーツ飲料を飲みましょう

熱中症が疑われる場合の処置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

☀ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります

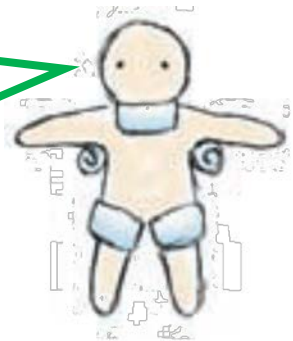


2. 応急処置を行きましょう



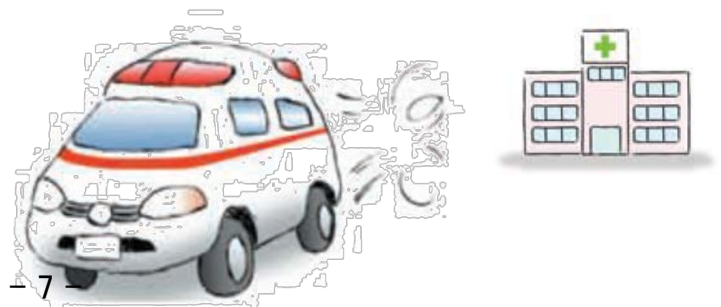
- ☀ 涼しい環境へ避難しましょう
- ☀ 服をゆるめて風通しをよくしましょう
- ☀ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう
- ☀ 水分・塩分を補給しましょう

脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です



3. 病院で手当を受けましょう

☀ 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい



参考情報

- 熱中症対策を含む農作業安全対策全般について

農林水産省ホームページ「農作業安全対策」

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html#necc_huushou

- 熱中症予防グッズについて

全国農業機械商業組合連合会ホームページ「おしゃれな農作業ウェア」

<http://www.zennouki.org/ware.html>

- 熱中症全般について

環境省ホームページ「熱中症予防情報サイト」

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

- 農業法人等で雇った人の熱中症予防や地域の高年齢者等に対する熱中症対策の事例等について

厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

- 気温に関する予測情報などについて

気象庁ホームページ「熱中症から身を守るために」

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

農作業における身体作業強度と熱中症のリスクについて

身体作業強度	作業の例
安静	安静
軽作業	楽な座位、立位、軽い手作業(書く、簿記など) 手及び腕の作業(点検、組み立てや軽い材料の区分け) 腕と足の作業(普通の状態での乗り物の運転、足のスイッチやペダルの操作)
中程度の作業	トラクターや重機の操作、草むしり、果物や野菜を摘む 軽量の荷車や手押し車を押したり引いたりする
激しい作業	シャベルを使う、草刈り、掘る、のこぎりをひく 重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする
極めて激しい作業	激しくシャベルを使ったり掘ったりする、斧をふるう、 階段を登る、走る

熱中症リスク 低



熱中症リスク 高

事務連絡

平成28年7月22日

関係者 各位

農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室長

農作業中の熱中症に対する注意喚起について

平素より農作業安全の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

農作業中の熱中症による死亡事故は、ここ数年20人前後で推移していますが、今夏は気象庁より例年よりも暑くなるとの予報がでており、例年以上の事故の発生が懸念されていたところです。

消防庁からの情報によると、今年7月19日までの熱中症による死亡者数はすでに全国で21名にのぼり、そのうち農作業中に発生したと推察されるケースが多いとのことです。

特に、高齢の方は、暑さに気づくことが遅れたり、無理をしやすい傾向があります。すでに本年6月2日付の技術普及課長通知でお願いしたところではありますが、今夏に入り多くの熱中症事故が発生していることから、皆様におかれましては、別紙をご参考にタイミングよく効果的に注意喚起と予防行動を促していただく等、改めてご協力をお願い申し上げます。

注意喚起の例

1 暑さ指数（高いほど熱中症を発症しやすい）が高い日時に、防災無線や巡回で集中的に注意喚起すると事故予防に効果的です。なお、お住まいの地域の暑さ指数は、以下のサイトで簡単に調べることができます。めやすとして、暑さ指数が31度以上になると、高齢者は安静にしているだけでも熱中症になることがあり、屋外活動は原則中止するレベルとなります。

環境省熱中症予防情報サイト：http://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

2 防災無線の放送や巡回時には、以下のコンテンツの予防広報メッセージがそのまま活用でき、大変便利です。熱中症の危険性の高い日や時間帯に、ぜひ使ってみてください。

消防庁熱中症情報：http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2_2.html

3 建設業等の作業現場では、お茶当番を決めて定期的に水分を摂取できるようにすると同時に、体調不良の者がいないか確認を行っているところもあります。一方で、農業では単独で作業するケースが多く、体調管理が困難かつ万一の時の発見が遅れる傾向にあります。現場で農業者に接する機会がございましたら、声をかけていただくと同時にその場で水分をとっていただく等、何卒積極的な啓発をお願いいたします。

4 農林水産省ホームページにも熱中症コーナーを開設しましたのでご活用下さい。ご意見随時承っております。

農水省熱中症対策サイト

：http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/2016_summer.html

農林水産省 ×

熱中症予防
声かけプロジェクト
～ひと涼みしよう～環境省
Ministry of the Environment暑くなってきたら、
日々の体調管理に
気をつけよう！

農作業時の熱中症に注意!!

熱中症は、適切な対策を取れば防ぐことができます。
お互いに声をかけあって、熱中症を予防しましょう。2016年
農作業安全キャラクター
葉月こは天気予報と
体調をチェック❗ 急に暑くなる日は
要注意です。❗ 体調不良時は、無理
をしないように。涼しい服装・
安全な作業環境❗ 帽子で日差しを遮り、
汗を逃がしやすい服装で。❗ 作業はできる限り二人
以上で。暑いハウスの
中は風通し良く。こまめな水分補給
こまめな休憩❗ 喉が渇く前に、こまめに
水分をとりましょう。❗ こまめに涼しい場所で
休みましょう。**高齢者は要注意!**高齢者は若者に比べると、暑さや喉の
渇きを感じにくくなっています。
周囲の人も積極的に声をかけましょう。**熱中症になってしまったら…**

- 1 涼しい場所に
避難
させる
- 2 衣服を脱がせ、
身体を
冷やす
- 3 水分を
補給する
- 4 自力で水を飲めない、
意識がない場合は、
直ちに救助隊を
要請しましょう

熱中症予防
声かけプロジェクト
～ひと涼みしよう～
涼太郎**熱中症予防強化月間****農作業の前に暑さ指数をチェックしよう!**4か国語に
対応しました!気象予報士からの
アドバイスも
掲載中!サイトは→
こちらから

ひと涼み

検索

農林水産省

農林水産省は熱中症予防声かけプロジェクトに参加しています。

農林水産省は農作業中の事故防止に取り組んでいます!

農水省 農作業安全

検索

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/enzen

農作業時の熱中症予防チェックシート



熱中症が原因でめまいなどを起こし、
トラクター転倒などの重大事故につながることもあります！
下記の項目をチェックして、熱中症に注意しましょう！

天気や気温を確認しましたか？

出かける前にならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。

体調は万全ですか？

体調不良（二日酔い・寝不足・風邪気味）の時は熱中症の危険度が増します。

朝ごはんは食べましたか？

朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。

涼しい服装を選んでいますか？

服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。

日差しを遮る帽子はありますか？

つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。

飲み物は持ちましたか？

水分補給をこまめにとりましょう。特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。

二人以上での作業ですか？

一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化するおそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は我慢せず不調を伝えましょう。

作業場所は熱がこもりませんか？

ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しをよくしましょう。室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。

作業計画に無理はありませんか？

涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。

緊急連絡先を知っていますか？

いざという時のため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。